

# 令和6年度第2回庄原市初任者研修会

令和6年9月4日（水）

広島県立庄原特別支援学校、広島県立庄原実業高等学校、庄原市総合体育館

「庄原市における教育課題を踏まえ、新規採用教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養う」ことを目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭7名、中学校教諭4名、養護教諭1名、主事1名】

## 【異校種訪問】 広島県立庄原特別支援学校（小学校教諭、養護教諭） 広島県立庄原実業高等学校（中学校教諭）

庄原特別支援学校、庄原実業高等学校の概要説明、授業参観、施設見学を行った。

- 庄原特別支援学校では、授業中における児童の言葉の引き出し方や、視覚支援の方法や授業の進め方など児童の個別の実態に応じた支援の工夫を間近で見ることによって、より深い理解を得られることができた。
- 庄原実業高等学校では、生徒が主体的に学ぶために大切なことや、中学校での進路指導において教員自身が進学先の学校の特徴を理解することの重要性を再認識した。また、中学校段階でどのような力を育成すべきか生徒の姿や説明を通して学ぶことができた。



（参加者の振り返りより）

- 庄原特別支援学校では、視覚支援があることにより自分で行えることや話せることが増えることが分かりました。また、選ぶ、自己決定することを子供や場面に応じて使い分ける必要があることも学びました。
- 授業参観を通して、特別支援学校の様子がよく分かり、大変参考になりました。本日の学びを受けて、「休憩時間・保健室での過ごし方」が分かる視覚支援アイテムを自分なりに作ってみようと思いました。
- 庄原実業高等学校では生徒が主体となり、活発に活動している姿に刺激を受けました。進路指導をするにあたって、生徒の日頃の姿を把握するだけでなく、学校の情報を教員自身が学んでおくことが大切だと感じました。



## 【講話】「教職員としての在り方について」

庄原市教育委員会 教育部長 庄川 隆則

公務員としての基本理念と求められる教職員像について、講話を行った。

- 初任者には、庄原市の現状や課題に目を向けて、ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け活躍できる人材の育成に取り組んでほしい。
- 公務員として、教職員として、基本理念や義務を理解した上で、業務を遂行すること。また、不祥事防止の観点から、日々公務員としての自覚をもつことが大切である。



（参加者の振り返りより）

- 公務員として自覚をもち、日々の業務に当たる必要があると再確認しました。庄原市教育振興基本計画についても頭に入れて指導を行っていきたいです。
- 庄原市で教員を務めるということで、庄原市の良さや課題について学び、生徒との関わりや指導に活かすことが大切だと感じました。

## 【講話】「児童・生徒と向き合う」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課長 高淵 直哉

教職員に期待される役割と本市の教育の方向性について講話を行った。

- どのような先生になりたいと思っていたか。そのために日々努力していること、意識していることは何か。求められる教員像を通して、どのように児童・生徒と向き合うことが大切か考えた。教職員が本気で向き合うことで、子供の姿も、周囲の関係も良い方向に変わっていく。
- 庄原市の教職員として、庄原市が力を入れていることについても理解し、指導をしていく。挨拶、読書、履物、時間、背筋といった5つの心がけ（さくら習慣）について、子供だけでなく教職員も意識し、自分の生活や指導を高めていくことが大切である。



(参加者の振り返りより)

- 生徒と関わるだけでなく、生徒についてよく理解し、「関わりきること」が大切だと感じました。そのために、保護者や他の教員などと連携しながら粘り強く日々取り組みたいです。
- 「どのような先生になりたいか」を定期的に思い出し、それに向けて授業づくりや子供と関わっていききたいです。

## 【実践発表・協議】「学級経営について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係長 小谷 綾子  
庄原市立永末小学校 教諭 大原 美優  
庄原市立東城中学校 教諭 安部 涼子

学級経営の意義や工夫について、実践発表及び協議を行った。

- 学級経営には、「ガイダンス」と「カウンセリング」の視点が求められる。また、一人一人の実態を把握して、愛情をもって接していくことが大切である。
- 先輩教職員の実践発表から学級について、授業について、業務の進め方について学んだ。また、初任者の疑問に答える形で、協議を行い、具体的な取組を交流した。



(参加者の振り返りより)

- 先輩方の実践から、生徒一人一人と関わり、向き合うことが大切だと分かりました。指導の場面では、メリハリや褒めを大切にし、生徒の思いをしっかり受け止めていききたいです。
- 評価の仕方や授業づくりについてたくさんの学びがありました。特に、「楽しめる」「計画的」を自分の業務の中に取り入れていききたいです。

## 【講話・演習】「日々の業務について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 学事係 管理主事 賀島 直弥  
主任主事 檜田 祐大

日々の業務について、年間を通した見通しや、書類等の確認方法について講話・演習を行った。

- 見通しをもち、計画的に取り組むことが、確実な業務の遂行につながる。
- 日々の業務において困っていることを共有し、演習を通して確認していくことで、業務改善の視点を学んだ。

(参加者の振り返りより)

- 学校事務として、1年間どのような業務があるかを理解することができました。さらに、日々の業務や学校内で困っていることを質問でき、たくさん学ぶことができました。学んだ内容をこれからの業務に活かしていきたいです。

